

# タンネウシ 4

月号



ヒグマの足跡  
右後足

・博物館21世紀プログラム

15年度のテーマは『動物のカラダ』～その形と動き

13年度から始めました21世紀プログラム。15年度のテーマは『動物のカラダ』～その形と動き、体を支える骨の不思議についてとりあげます。10～12月に特別展「骨格」、連続講演会「カラダのふしぎ」を開催します。関連講座として、バスハイキングや魚の透明標本づくりなどを開催予定。

今年は特別講演会の他に、10月に共催講演会「鯨と北海道 - 北海道における鯨と人のつながりを追う」を開催します。

出版物では、特別展図録「骨の図鑑」、知床ライブラリー第5巻「知床の昆虫類」の刊行。

その他、考古・植物・動物・昆虫・天文・民俗など各種講座の開催。知床・海と森の学校やミュージアムワーク、夏休み体験講座、ロビー展（弘前・竹富写真展や知床の昆虫他）の開催、リフォーム事業のボランティアも引き続き実施します。

協会行事としては6月下旬に「博物館みどりの日」、5～9月毎月1回「草取りボランティア」の開催を予定しています。

詳しい内容は、毎月発行の「タンネウシ」・「おじろ通信」・「博物館ホームページ」に掲載しますのでご覧ください。

## 越川小学校

87年の歴史をビデオで  
放映中です！

記念館ロビーでは、平成15年3月31日で閉校となる越川小学校87年の歴史をふりかえる懐かしい映像を放映しています。昭和30年代の学校の様子から現在に至るまでの様々な映像を見ることができます。

ロビーのみの観覧は無料です

## 大栄湿原春の花観察会

4月20日(日) 10:00～14:00

大栄に残る斜里町でもっとも大規模なミズバショウ群落と、周辺のネコノメソウやヤナギ属その他の春の花の観察をします。

詳しくは「おじろ通信」をご覧ください



## 絵はがき：シレトコスミレ

今回、会員の方に同封したハガキの写真は、昨年6月シレトコスミレ観察会で知床硫黄山に登山した際、内田学芸員が撮影したものです。高山の岩礫地で見られる、白い花が可憐で印象的です。

シレトコスミレの絵ハガキは博物館窓口で、一枚70円で販売しています。

その他の博物館オリジナル絵ハガキ（知床の蝶と蛾・鹿4種・冬の知床半島・モモンガ・ジャガイモの花・オオワシと流水）も好評販売中です。

是非、ご利用ください。